



ii!! TAC 通信



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

【 J A 版・第 5 9 5 号 】

J A 全農 耕種総合対策部 T A C 推進課提供 令和 3 年 1 月 1 3 日 更新

今回は令和 3 年 1 月 2 0 日 (水) 配信予定です。

～本年もよろしくお願ひいたします。～

★各欄の《下線部分》をクリックしていただきますと、記事内容が表示されます★

👉●「TAC!!公式アカウント」誕生!!●👈

さらなる TAC の情報発信力強化を図るため LINE 公式アカウントを開設しました！その名も「TAC!!公式アカウント」。こちらでは TAC が担い手に出向く際の助けになる情報を提供していきます。ぜひ、多くの皆様のご登録をお待ちしております！
右記の QR コード読み取っていただくことで登録画面に進めますので、皆様のご登録をよろしくお願ひいたします。



■皆様のご登録をお待ちしております!!■

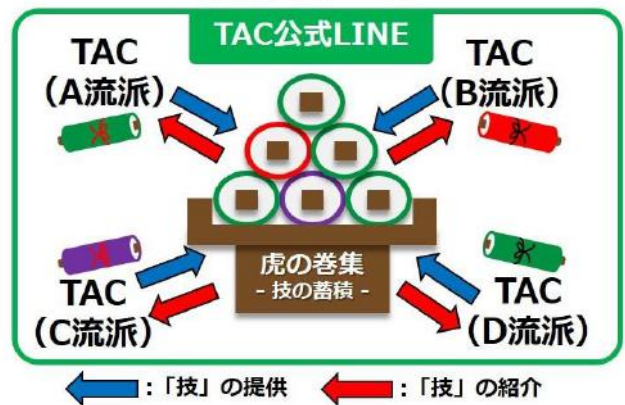
◆「事業承継支援 虎の巻」 始まります!! ◆

全農本所 T A C 推進課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかる T A C の技を収集し、全国の T A C の皆様に「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」の発信を開始します。

「事業承継支援 虎の巻」は T A C の皆様が普段からあたりまえに実践していること（技）にスポットをあて、全国に発信することで「達人があたりまえに実践している実はすごい技」を T A C 間で共有し、J A（流派）を超えて、事業承継支援にかかる技を磨き上げることを目的としています。事業承継支援にかかる新境地の開拓に向け、全国の T A C のために皆様の技をぜひご提供お願ひいたします。

あなたの「技」を全国の T A C へ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域 T A C 部署を通じて全農本所 T A C 推進課にご連絡ください！

運用イメージ



お知らせ

■ J A グループ石川 事業間連携研修会を開催 (12/2) NEW

J A グループ石川は 12 月 2 日 (水)、J A の T A C ・農業融資担当者・農機担当者・経済渉外担当者・共済担当者などを対象に J A 内の情報共有体制の構築・強化に関する手法等の習得を目的とした事業間連携研修会を開催しました。

株式会社 J O J O の舟木健治氏を講師に座学とグループワークを通して事業間連携の必要性や課題の認識、ならびに各部門からの要望の把握、組織内でのコミュニケーションの重要性などを確認しました。また、J A 単位のグループ編成にてアクションプランの策定を行いました。

参加者からは、「他部署との情報共有の必要性を認識した」、「他部署とのミーティングの開催を検討する」、「他の J A や他部門の意見を聞くことができ刺激となった」などの声が聞かれました。

■ 全農本所 T A C 推進課 「J A グループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」を発行 NEW

全農本所 T A C 推進課では J A 全国担い手サポートセンターと連携し、J A 等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しました。

ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

あわせて、今後の皆様のノウハウを全国の T A C へ紹介し事業承継支援の取組の輪を一層拡大していくことに向け、ぜひ「事業承継支援 虎の巻」にもご協力をお願いします。

本手引きの内容は 12 月 22 日開催の事業承継研修会にて解説しています。研修内容を録画した DVD をご要望の際は県域 T A C 部署を通じてお問合せください。

手引きは、T A C システム知恵箱 フォルダ 『27. 事業承継』に格納しております。

J Aグループ石川ではJ Aの総合力を発揮した事業提案の実現等、県内での事業間連携の取組み強化に向けた支援を行っていきます。



■栃木県 営農・経済担当者研修会（事業承継研修） 開催（12/23）NEW

全農栃木県本部は12月23日、栃木県J Aビルで営農・経済担当者研修会（事業承継研修）を開催し、県下J AのT A C・営農経済担当者等17名が参加しました。

まず、全農本所T A C推進課担当者から事業承継の概要や事業承継ブックを活用した支援方法、他県J Aの取組事例について説明があり、その後、事業承継経験者からのメッセージということで全青協飯野元会長の講演動画を放映し、計画的に進める重要性や事業承継のポイントなどを聴講しました。また、全農栃木県本部から、栃木県内での今後の事業承継の取組みについて説明しました。

地域農業の維持活性化のためにも、今後もJ Aグループ丸となって事業承継支援に取り組んでいきます。

■J Aグループ石川 担い手推進担当ロールプレイング大会を開催（12/14）NEW

J Aグループ石川は12月14日（月）、担い手への訪問活動のさらなる充実を図るため訪問活動における面談スキル向上を目的とした「担い手推進担当ロールプレイング大会」を開催し、7J Aが出場しました。今年度はT A Cのペアを融資担当者に限定せず、農機、経済、共済等の部門も対象とするなど間口を広げ事業間連携を意識した内容にてロールプレイングを行いました。

今大会では農業融資の提案に加えて、I C T農機の導入提案、肥料・農薬の推進、無料職業紹介事業の紹介、事業承継やリスク診断活動など、日々の業務で実践している事項を演技に盛り込んでおり例年に比べ提案内容の幅が広い大会となりました。

J Aグループ石川では、継続して各J Aでの訪問活動の充実に向けた支援を行っていきます。

■本所T A C推進課 事業承継研修会を開催（12/22）NEW

全農本所T A C推進課は12月22日（火）に事業承継研修会をT V会議にて開催し、全国から208名のJ Aおよび県域担当者が参加しました。

研修会では、日ごろの訪問活動を通じ事業承継ブックを活用した経営者と後継者の話し合いの支援を実践するうえでの具体的な取組のイメージづくりを支援するための演習や、「J Aグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」の内容を解説しました。

本研修内容を録画したD V Dをご用意しておりますので、ご要望の際は県域T A C部署を通じてお問合せください。

【研修会カリキュラム】

時 間	内 容	担 当
13:00 ～ 13:05	開講挨拶	J A全農 耕種総合対 策部 T A C推進 課
13:05 ～ 15:20	【講義および演習】 ①事業承継支援の必要性 ②事業承継ブック（親子版）の概要 説明 ③事業承継ブック親子版活用に向けた演習 ④「J Aグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」の解説	
15:20 ～ 15:30	事業承継支援にかかる各種情報提供	
15:30	閉講挨拶	

■全農本所T A C推進課 「J A経営実務1月号」に事業承継啓発記事を執筆NEW

全農本所T A C推進課は全国共同出版社より1月1日に発行される「J A経営実務1月号」に事業承継啓発記事を執筆しました。

現在の農業が抱える課題を踏まえた事業承継の必要性だけでなく、J Aによる事業承継支援の必要性を体制と取り組みの両面から行う重要性について述べています。今後も全農本所T A C推進課は、J Aによる事業承継支援のサポートに取り組んでいきます。





■ J Aグループ石川 「J Aグループ石川 担い手応援フェア 2020」を開催 (11/28)

J Aグループ石川は11月28日(土)、～農業新時代、未来を切り拓く石川の農業～をテーマに、担い手農業者との意思疎通と更なる信頼関係の構築を目指し、県産業展示館4号館・屋外展示場にて「J Aグループ石川担い手応援フェア2020」を開催し、農業者、一般の方計1,000人近くが来場およびWeb視聴により参加しました。会場の各ブースでは安全で効率的な農業経営を行うための提案をおこない、J A自己改革ゾーンでは県内J Aの自己改革の取り組み等について展示をし、ステージセミナーやワークショップでは農政課題や、農業経営者に求められるもの、農業ICT活用による稲作生産システムについての講演や肥料・農薬の上手な使い方、女性農業者向けの作業衣の提案を行いました。

都合により来場できなかった方へはリアルタイムでWEB配信し、この動画は今後J A石川県中央会のHPにアップする予定です。参加者からは、「来てよかった。スマート農業の話が勉強になった。」「これからの農業をしていく上で参考になった。J Aの協力のもと“稼げる農業”を目指していきたい。」などの声が聞かれました。

■ 全農本所TAC推進課 TACパワーアップ大会2020受賞者が決定

全農本所TAC推進課はTACパワーアップ大会2020活動表彰審査委員会を開催し、以下のとおり受賞J Aと受賞TACが決定しました。受賞された皆様、おめでとうございます。

なお、TACトップランナーズJ A表彰およびJ A表彰受賞J Aにつきましては、TACパワーアップ大会2020(1/14開催予定)にて取組事例を発表いただきます。

《受賞J A、TAC一覧》

TACトップランナーズJ A表彰(2J A)	
J A新しいわて	J Aふくおか八女
J A表彰(4J A)	
J Aぎふ [全農会長賞]	J Aいわて中央
J Aにしみの	J Aおちいまばり
TAC表彰(9TAC)	

■ 「事業承継支援 虎の巻」第1巻

「事業承継支援 虎の巻」第1巻を発信します。記念すべき第1巻はJ Aしまね 原 紀行さんから、達人の極意をご紹介します。

事業承継支援 虎の巻


- 達人の極意 -

最初に話す時には事業承継ブックをあえて開くべからず

- 極意の心 -

其之一：啓発チラシ等を活用し、口頭説明に留める。
其之二：他地域や他産業の事例等の内容を交えた会話が効果的。
其之三：1回の訪問ではなく、複数回の訪問により事業承継の必要性を理解いただくことを心得る。

今回の達人



J Aしまね 原 紀行さん
(TAC歴6年)

解説

- ・重要なのは「事業承継ブック」の内容を理解いただく事ではなく、「事業承継の必要性」を理解いただくことです。
- ・ブックの内容を説明することに意識がとられてしまう場合は、啓発チラシの活用をお勧めします。
- ・1度にすべてを伝えるのではなく、訪問を重ねるうちに少しずつ理解いただけるよう話題提供を試みましょう。

事業承継ブックはTACシステム内の知識庫「27.事業承継」に収録しております。ぜひご利用ください！

■ 全農本所労働力支援対策室 農水省農業の働き方確立支援全国会議にて講演 (12/17)

パナソニック農援隊(農水省 農業の働き方確立支援 事業統括)の主催で12月17日(木)、「農水省 農業の働き方確立支援 第2回全国会議」が東京八重洲およびWEBにて開催され、農水省の農業の新しい働き方確立支援事業実施地区の自治体、J A関係者等約40人が参加しました。

会議では労働力確保・働き方改革を進めるための情報提供として、全農本所労働力支援対策室花木専任室長が農業労働力支援(作業請負)とブロック労働力支援協議会について事例発表を行った他、株式会社シェアグリ から外国人の派遣事業、株式会社マイナビ からマッチングサイトについての情報提供、農業の新しい確立支援事業実施地区の現状活動況報告も行われました。

参加者や農水省事業検討委員からは、「大分の事例はぜひ全国展開すべき」、「新たな労働力の方向性を見出された」などの感想をいただきました。

■ 本所スマート農業推進室 Z-GISユーザーインタビュー2020 公開開始 (12/21)

Z-GISユーザーインタビュー2020は、Z-GISユーザーがZ-GISの活用方法やZ-GISの魅力について語る動画です。日本全国の6ユーザーにご出演いただき、大規模担い手法人や、J G A Pの団体認証での活用、サツマイモ農家の園芸作物での活用など様々なお話をいただきました。

下記からYouTubeでご覧いただくことが可能です。ぜひご覧くださいZ-GIS普及のPR活動にお役立てください。

- Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)(既出分)
- Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)
- Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)

■ 各媒体でTAC関連の記事が掲載されました

【日本農業新聞】

○病虫害防除を強化 補正予算注目の事業 (1/12)

NEW

J Aいわて花巻 葛巻氏	J Aおおふなと 中村氏
J Aいわて平泉 菊地氏	J A小松市 橋本氏
J A石川かほく 櫻井氏	J A豊橋 古志野氏
J Aおうみ富士 内藤氏	J Aしまね 片寄氏
J Aしまね 渡部氏	
担い手向けT A C通信表彰 (2 J A)	
J A金沢市	J Aたじま

■お知らせ

【Z-GIS情報 No.18】

- 新規加入で最長4か月無料 「みんなで始めようキャンペーン」! **NEW**
T A Cシステムの「知恵箱」-「15. T A C広報」 「29(1)Z-GIS 情報提供資料」に投稿済

【残留検だより No.5】 **NEW**

- 残留基準値改正のお知らせ
- 残留農薬用語集 (その3)
T A Cシステムの「知恵箱」-「05. 農業」に投稿済

【J A職員のための農業法人支援ハンドブックの紹介】

J Aグループ中小企業診断士会よりJ A農業経営コンサルティングに取組む職員向けの農業法人支援ハンドブックが発刊されました。J A職員のレベルアップを目的に農業経営の基本事項や法人支援に役立つJ Aグループの各種商品が紹介されています。本書の発刊を機に、農業法人に出向いてコンサルティングを実践するJ Aグループの職員が1人でも増えていくことが期待されています。是非ご一読ください。

[立ち読みはこちら](#)
[購入サイト](#)

■【募集中】

J R大阪駅みのりみのるマルシェ出展J Aの募集

全農本所T A C推進課では、J R大阪駅マルシェ出展J Aを募集しています。この取組みはJ A内外に地域ブランドのファンをつくる絶好の機会ですので、ぜひ出展をご検討ください。申し込み枠もあとわずかになっております! 出展に関するお問合せは本所T A C推進課までお願いします。

連絡先: zz_zk_tac@zennoh.or.jp

- 種子海外流失防ごう 法改正で研修会J Aマインズ (1/12) **NEW**
- T A Cブログで情報配信 J Aグリーン近江 (1/12) (1/12) **NEW**
- 熟練技の習得 遠隔で指導 (1/11) **NEW**
- 空中散布受託が好調 広島 (1/11) **NEW**
- 米でグローバルG A P全国初の取得 J A新しのつ (1/8) **NEW**
- 活動成果を発表 J Aかながわ西湘T A C審査会 (1/8) **NEW**
- 特例子会社に認定障害者雇用促進へ J Aぎふ (1/6) **NEW**
- 農業の労働力 多様な人材で支え合う (1/3) **NEW**
- 活特定技能めざして 農繁期の支え期待 (1/3) **NEW**
- J Aの47%労働力支援 担い手からニーズ (12/30) **NEW**
- 労力確保支援を延長 農水省 (12/29) **NEW**
- トビロウんカ防除手引きぜひ活用を 農水省HPで公開 (12/29) **NEW**
- 2020 農業技術10大ニュース デジタル化が加速 (12/28) **NEW**
- スマート技術 効果的な導入へ支援を (12/28) **NEW**
- キャベツで団体認証 岡山 (12/28) **NEW**
- コロナと農業普及 情報発信、連携に工夫を (12/24) **NEW**
- 【日本農民新聞】
- T A C活動のレベルアップをめざして (12/25) **NEW**
- Z-GIS 新機能・データ連携拡大 (12/25) **NEW**
- かお J A全農新任常務理事・監事の各氏 (12/25) **NEW**
- 【グリーンレポート1月号】
- がんばる担い手-J A晴れの国岡山 つやま集落営農法人部会 **NEW**
- 選ばれる産地めざし「任意」から「認証」G A Pへ **NEW**
- 【経営実務11月号】
- 新潟県 J A佐渡 営農事業部 営農企画課 高橋華奈氏、滋賀県 J A東びわこ 営農経済部T A C 岡田幸司氏
- 【地上11月号】
- Z-GISでスマート農業の波に乗れ
- 【全農ウィークリー】
- vol.948 (1/1) **NEW**

技術情報 (出典: 農研機構HP 普及成果、研究成果より)

37. [スマートフォンにより現場での災害対応に活用できる「ため池防災支援システム」](#) (農研機構HPへリンク)

ため池での現場対応や緊急対策に活用するためのスマホ版「ため池防災支援システム」である。ユーザーインターフェースを一新させ、過去の災害情報の閲覧などの新たな機能も追加し、自治体が視覚的に使いやすいシステムにしている。

1. [水稻の主要な発育ステージを面的に把握し、予測する情報発信システム](#) (農研機構HPへリンク) **NEW**

メッシュ農業気象データと水稻統計情報から、東北地方の幼穂形成期、出穂期、成熟期、刈取適期とそれぞれの平年差を面的に把握し、予測する手法。これまでの水稻の面的出穂期予測を拡張し、主要な発育ステージとその平年差の面的分布図を追加した情報発信システムである。

※一覧はT A Cシステムの「知恵箱」-「14. その他」に投稿済。ファイル名:「【20200331】農研機構研究成果発信一覧表.xlsx」

事業承継

■全国担い手サポートセンター 事業承継支援実践研修会を開催 (12/8)

全国担い手サポートセンターは12月8日(火)「令和2年度事業承継支援実践研修会」をリモート形式で開催し、JA、地域の経済、信用、共済部門担当者、ほか関係者60名が参加しました。研修会では、全農本所TAC推進課が事業承継ブックを活用した取り組みのきっかけづくりについて説明し、JA金沢市とJAグループ石川営農戦略室から家族経営体への取組事例が、JA熊本中央会から法人化提案をふまえた取組事例が紹介されました。また、伊東事業承継士を講師に招き、事業承継支援のポイント等について講演いただきました。

全国担い手サポートセンターは今後も事業間連携を強化し、JA、地域の事業承継支援を進めていきます。

■神奈川県 事業承継研修会を開催 (11/24)

全農神奈川県本部は11月24日(火)に平塚プレジールで「事業承継研修会」を開催し、県内JAのTACをはじめ、関係者など40名が参加しました。

全農本所TAC推進課と神奈川県本部から事業承継の概要や事業承継ブックの活用方法などについて説明をし、また、県農協青壮年部協議会の石田書記長と金井参与を講師でお招きし、事業承継の経験として、石田書記長からは経営状況が悪ければ悪いほど早いタイミングで事業承継すべきで経営の成功のために積極的にチャレンジしていくことが重要といったお話がありました。また、金井参与からは、事業承継は金銭が絡むことだからこそ、TACにはどんどん農家を訪問してお金の話ができるほど信頼関係を築いて支援してほしいとTACに期待を寄せました。

若手農業者から事業承継の経験談や事業承継支援の想いなどを直接聴いたことで、今後JAの事業承継支援に活かされることが期待されます。

■全農本所 事業承継啓発チラシ親子別 Ver. を作成

全農本所は、事業承継啓発に係る新たなツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しました。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいものとなっていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは知恵箱「27. 事業承継」に格納していますので是非ご活用ください。

■全農TAC推進課 JA経営実務プレゼンツ「プライマリーニュース」にて事業承継支援をPR

全農TAC推進課はYouTubeチャンネルであるJA経営実務プレゼンツ「プライマリーニュース」にて、事業承継支援の取り組みをPRしました。

以下から動画がご覧になれます。ぜひご覧ください。

[事業承継ブックPR動画](#)

■事業承継ブック(部会版)発行・配付

全農TAC推進課は2020年7月「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック部会版)を発行しました。全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしく願います。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック(集落営農版)発行・配付

全農本所TAC推進課では、各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック集落営農版)を発行しました。

全農HPでは3月30日にPDF版を公開し、5月7日以降に印刷製本版を順次配布します。(県域TAC部署を通じて事前に部数とりまとめ済)

ぜひ、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしく願います。

全農HPは[こちら](#)

■「JAにおける事業承継の取組手順」発行

全農主催の事業承継プロジェクト会議及び各県域からの意見を踏まえ、「JAにおける事業承継の取組手順」を発行しました。是非各JAでの活用をお願いします。

なお、データはTACシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■農業協同組合新聞 事業承継特集紙 作成

全農本所TAC推進課では、全国農協青年組織協議会、全国青年農業者クラブ連絡協議会、NPO法人農家のこせがれネットワークの協力を得て、事業承継特集紙を作成しました。JA岩手ふるさと、JAしまね、JA広島市、JA鹿児島中央会の取り組みも掲載しております。

特集紙を、2月26日JA全国青年大会、3月8日全国青年農業者会議で配布しました。

JAcom掲載記事は[こちら](#)
全農HPは[こちら](#)

■JA広報通信 特集監修

全農本所TAC推進課では、JA広報通信3月号特集「親子で考えよう 農業の事業承継」の監修を行いました。紙面はTACシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■事業承継啓発チラシの活用を！

各県からの要望に基づき、事業承継啓発チラシを作成しました。「事業承継ブック」とセットでご活用ください。元データは知恵箱「14. その他」に格納しています。年度末に県域TAC部署から全農本所への利用報告とりまとめも依頼しておりますので、各JAのご協力も宜しくお願いします。

Z-GIS



!! Z-GIS の動画ができました!!

全農本所スマート農業推進室が新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。
Z-GIS スタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GIS ユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GIS ユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■全農本所耕種総合対策部 第1回Z-GISウェビナーinあぐラボを開催(12/10)

全農本所スマート農業推進室とTAC推進課は12月10日(木)、ZoomとYouTubeLiveにて「第1回Z-GISウェビナーinあぐラボ」を開催し、90名が参加しました。

ウェビナーではZ-GISの機能の紹介だけでなく、ユーザーにインタビュー形式でZ-GISの活用事例をご紹介いただき、今回は4Hクラブ副会長の宮本様とJA埼玉青年部協議会委員長の高橋様からZ-GISを導入したきっかけや、今後の活用についておうかがいしました。

Zoomを活用した初めての試みでしたが全国の視聴者と活発な意見交換も出来、大変盛り上がったウェブセミナーとなりました。今後も本所スマート農業推進室とTAC推進課は、Z-GISの普及に取り組んでいきます。

■全農TAC推進課 地上11月号に「Z-GISでスマート農業の波に乗れ」を掲載

全農TAC推進課は10月1日(木)発行の地上11月号にZ-GISの広告を掲載しました。Z-GISの概要や新機能の特集、ユーザーの声に加えて、本所スマート農業推進室平野室長による「Z-GISに込めた思い」のインタビューを載せています。こちらは推進資料としても活用できるよう、チラシをイメージして作成しました。知恵箱→「29(1)Z-GIS情報提供資料」にも格納していますのでご活用ください。

■Z-GIS情報について

12月1日付で本所スマート農業推進室より「Z-GIS情報 No. 17」が発行されました。TACシステム知恵箱の「29(1)Z-GIS情報提供資料」に掲載しておりますので、担い手向け訪問ツールとしてご活用ください。

TACシステムの「知恵箱」-「29(1)Z-GIS情報提供資料」に投稿済

農業労働力支援

■全農本所労働力支援対策室 時事通信社主催セミナー「地域農業を支える新しい労働力のあり方」にて事例発表(11/24)

11月24日(火)に時事通信社主催(協賛JA全中)「地域農業を支える新しい労働力のあり方」セミナーが東京都東銀座にて開催され、現地とwebで自治体、企業、JA関係者等約240人が参加しました。

セミナーでは全農本所労働力支援対策室花木専任室長が「JA全農で実践!!働く人目線で考える労働力支援」という演題で農業労働力支援について事例発表を行いました。また、他の発表者(JA共済総合研究所 主席研究員 濱田 健司 氏 株式会社おてつたび 代表取締役CEO永岡 里菜 氏)とともに「地域農業を支える新しい労働力とは」を題目にパネル・ディスカッションを行い、活発な意見交換がなされ、セミナー参加者からは「労働者目線から農業について考えるきっかけとなった」「人口減少で外国人労働者への依存への道筋ばかりと思っていたが、新たな労働力の創出の方向性を見出されていて大変勉強になった」などの感想をいただきました。

■全農本所労働力支援対策室 中国四国および九州ブロック労働力支援協議会web会議を開催 (11/6, 9, 13)

全農本所労働力支援対策室は11月6,9日に中国四国ブロック、11月13日に九州ブロックの労働力支援協議会をweb会議にて実施しました。

会議では令和2年度ブロック協議会の部会活動として、全中と全農の共同で実施する「農業労働力確保にかかる県域実態調査」に協力・実施すること、また、パートナー企業と連携を希望する県域については、本所・先進県が希望する県域に対し、ノウハウの提供やサポートを行いと一緒に取り組むことについて説明し、決定しました。農業労働力支援は「いつ、どこで、どの作物で、どの組合員(部会)」が労働力不足となっているかがわからないと、組合員を支援することができません。実態調査を実施することにより、労働力不足となっている地区にパートナー企業と連携して支援が実施できるよう今後も取り組みをすすめます。

相談

※いずれも無料ですので、積極的にご利用ください！！

■担い手対応の経営相談

全農本所では、担い手を対象として経営に関する相談を行っています。経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、県域TACまで連絡ください。

■6次産業化相談

全農本所では、6次産業化中央サポートセンターのご協力を得て、6次産業化、商品開発等に取り組む担い手、JA等へ、専門知識を持つプランナーの派遣を行っています。

派遣を希望される場合は、県域TACと協議の上、相談票を作成し、全農本所TAC推進課まで送付下さい。
(様式は県域TACへお問い合わせ下さい)

人材育成 (TACアグリビジネススクール、他各種研修案内等)

■令和2年度TACアグリビジネススクール日程
内容につきまして詳細が確定いたしましたら、後程改めてご案内いたします。

回	日程	時間	テーマ
9	2/3(水)	13時～15時	省力・低コスト資材、技術情報②
10	3/3(水)	13時～15時	労働力支援

*会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■全農本所TAC推進課 第7回TACアグリビジネススクールを開催 (11/30)

全農本所TAC推進課は11月30日(月)テレビ会議システムにて第7回TACアグリビジネススクールを開催し、208名が参加しました。第7回は「会計・税務研修②【個人の決算書/経営計画】」をテーマに、アグリビジネス・ソリューションズ株式会社の森先生と西山先生から、個人の貸借対照表・損益計算書、減価償却に関する演習や、経営の分析と営農計画の作成について講義いただきました。

TAC推進課では研修を通じTACの皆さんの知識向上を支援しています。

■全農本所TAC推進課 JA管理者マネジメント力向上研修会の開催 (11/19)

全農本所TAC推進課は11月19日、JA管理者マネジメント力向上研修会を開催し4名のTAC管理者が参加しました。本来は集合型の研修を予定していたものの、新型コロナウイルスの情勢をふまえ、今年度は試行的にWEB会議ツール「Zoom」にて少人数での開催となりました。

本所TAC推進課より出向く活動をめぐる情勢やTAC管理者の役割について講演した他、株式会社エナジーソースの高村講師より管理者が追及すべきことや演習を通じたPDCAサイクルの考え方と利益コスト意識の習得について講演・演習いただきました。また、受講者もオンライン上でのペアワーク等の演習を通じて活発な意見交換に取り組みました。

課題はまだ残るものの、全農本所TAC推進課は、今後も「Zoom」などを活用した新たな人材育成支援について検討していきます

資材貸出

■全国共通資材の貸出

タペストリー一覧表を更新しました！

ジャンパー、エプロン、帽子、ポロシャツ、のぼり、テーブルクロス、ハッピーの貸出申請書は、TACシステム知恵箱-「83.TAC資材貸出」に投稿されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

■ワークウェア(JA全青協モデル)貸出 内規制定

ワークウェア(JA全青協モデル)の貸出内規を制定しましたので、農機フェア等での販売を希望される場合は、貸出申請書を全農本所TAC推進課まで送付下さい。

内規・申請書は、県域TAC担当部署にお問い合わせ下さい。

みのりみのるプロジェクト

■「AGRI FUTURE」Vol.94 (JA豊橋 愛知) 発行(1/8) NEW

○フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付
HPは[こちら](#)

- 生産者の声
とよはしトマト／スティックサラダ／
とよはしキャベツ
- 地域百景
手筒花火／道の駅「とよはし」
- クローズアップ
豊橋筆

※「AGRI FUTURE」は「みのりみのるマルシェ」と併せて、担い手と一緒に地域ブランド創りに取り組むTACへの支援策として、地域ブランドのストーリー（地域の歴史・文化・自然・生産者の想いなど）を、首都圏やJA管内の生活者に伝える企画として実施しています。

×××××××××× みのりみのるマルシェ ××××××××××

1/30（土）開催を予定しておりましたがJA豊橋のみのりみのるマルシェは新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑み、中止とさせていただきます。ご了承のほどよろしくをお願いいたします。

銀座三越	
出展者	未定
日付	未定
時間	未定
場所	銀座三越9階 みのる食堂前

※変更になる可能性があります

◆[みのりとみのるHP](#)

TACシステム関連情報

■TACシステム新規ユーザー様向け：メッセージ受信設定について

平成30年3月26日のTACシステムバージョンアップ以降、新規ユーザー様から「TACシステム登録アドレス宛にお知らせメールが届くようになった。メールを受信しない（または必要なメールは受信する）設定はできないか」というお問い合わせをいただきます。TACシステムの個人設定からメッセージ関連設定を選択することで、受信設定を変更できます。

詳細な手順説明は、TACシステム知恵箱「90. (3) 操作マニュアル」に格納しています。

ファイル名：

TACシステムメッセージ関連設定マニュアル（1804 作成）.pdf

◆◆知恵箱掲載のお知らせ◆◆

- 【25. 連絡】利用登録・待ち状況一覧（2021013）
- 【19. (1) 2020年度】第8回一カリキュラム
- 【19. (1) 2020年度】【第8回】別紙2-2：法人税計算演習問題2021（解答）
- 【19. (1) 2020年度】【第8回】別紙2-1：決算申告演習問題2021（解答）
- 【19. (1) 2020年度】【第8回】本冊資料2：農業経営の決算と税務
- 【19. (1) 2020年度】【第8回】別冊資料1：参考資料（含模範解答）
- 【19. (1) 2020年度】【第8回】本冊資料1：法人の決算書
- 【27. 事業承継】（参考資料）キーワードとJA事業にかかるニーズの深堀・気づきに向けた一言（例）
- 【27. 事業承継】事業承継支援にかかるチラシ
- 【27. 事業承継】JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き
- 【05. 農業】農業技術情報【冬場のヒメトビウカ防除】
- 【19. アグリビジネススクール】【第7回】参考1：主な減価償却資産の耐用年数表

■TACシステムの利用申請書について

利用申請書（新規、再登録、削除）については、原本はJAで保管し、データもしくは写しをヘルプデスク (ninaite-help@z-bs.co.jp) へ送付ください。

メールにて送信する場合、個人情報保護のため、パスワードでの保護をお願いします。利用規約、安全管理マニュアルについてはTACシステム「知恵箱」-「90. (1) 規約・申請書」をご覧ください。

※新任、勤務地変更、解約がある場合は、速やかに申請書類を提出してください。

※特にシステムを利用しなくなる方については、必ず、解約手続を行ってください。

◎詳しくはユーザー申請書記入マニュアル（知恵箱）をご覧ください。

※申請書類は、各県域（県本部・中央会・経済連等）を通して、ヘルプデスクへ送付してください。

■TACシステムへ各種記事媒体の掲載について

知恵箱に記事媒体を引用し投稿する場合には、必ず、事前に発信元に掲載の許可を取ってください（著作権法に抵触します）。

なお、投稿の際には、記事の余白とファイル名の末尾に『転載許可済』と入力して下さい。また、日本農業新聞を引用・掲載する場合は、所定の申請書に記入し各自で許可申請をして下さい。（HPのリンクを張ることについては申請不要です）

■ヘルプデスク宛先

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5
リンクスクエア新宿9階
株式会社 全農ビジネスサポート
管理販売システム部 管理販売グループ
TACシステムヘルプデスク 御中
TEL：03-3350-1157
Eメール：ninaite-help@z-bs.co.jp

ランキング集計

☆文字化けが発生するケースがある為、画面コピーを貼り付けています。
文字化けが発生する場合は全農本所TAC推進課までご連絡ください。

【 12月 】 月間ランキング

JA別-面談記録登録状況

(訪問期間:2020/12/1~2020/12/31)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA金沢市	石川	1413	28	50.5
2	JA南彩	埼玉	1281	9	142.3
3	JAおおいた	大分	945	12	78.8
4	JAおちいまばり	愛媛	941	18	52.3
5	JA福井県 福井基幹支店	福井	909	25	36.4
6	JAおきなわ	沖縄	889	14	63.5
7	JA岡山	岡山	841	23	36.6
8	JA新しいわて	岩手	720	12	60.0
9	JA花巻	岩手	712	19	37.5
10	JAなす南	栃木	709	4	177.3

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2020/12/1~2020/12/31)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA東西しらかわ	福島	380	2	190.0
2	JAなす南	栃木	709	4	177.3
3	JA南彩	埼玉	1281	9	142.3
4	JA淡路日の出	兵庫	275	2	137.5
5	JAあきた北	秋田	664	5	132.8
6	JA茨城かすみ	茨城	129	1	129.0
7	JALレーク伊吹	滋賀	575	5	115.0
8	JAしおのや	栃木	557	5	111.4
9	JAふくおか八女	福岡	220	2	110.0
10	JA京都のくに	京都	324	3	108.0

【JA】のすべてのランキング(その他業務を除く、訪問ベースで集計)★1月12日登録までの集計

※1月の月間ランキングは2月10日(水)発行予定の「TAC通信」に掲載予定(2月9日登録までの集計となります)

【 12月14日 ~ 1月3日 】 週間ランキング集計

JA別-面談記録登録状況

(訪問期間:2020/12/14~2021/1/3)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA南彩	埼玉	726	9	80.7
2	JA金沢市	石川	691	28	24.7
3	JAおおいた	大分	581	12	48.4
4	JAおちいまばり	愛媛	557	18	30.9
5	JA福井県 福井基幹支店	福井	543	25	21.7
6	JAおきなわ	沖縄	522	14	37.3
7	JALレーク伊吹	滋賀	432	5	86.4
8	JA岡山	岡山	429	22	19.5
9	JA花巻	岩手	392	18	21.8
9	JA北びわこ	滋賀	392	8	49.0

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2020/12/14~2021/1/3)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA東西しらかわ	福島	196	2	98.0
2	JAなす南	栃木	384	4	96.0
3	JALレーク伊吹	滋賀	432	5	86.4
4	JA淡路日の出	兵庫	172	2	86.0
5	JA南彩	埼玉	726	9	80.7
6	JA茨城かすみ	茨城	76	1	76.0
7	JAみなみ筑後	福岡	137	2	68.5
8	JAくるめ	福岡	127	2	63.5
9	JA足利	栃木	236	4	59.0
9	JA京都のくに	京都	177	3	59.0

【JA】のすべてのランキング(その他業務を除く、訪問ベースで集計)★1月12日登録までの集計

※次週の週間ランキングは1月4日~1月10日分の記録を掲載予定。1月19日登録までの集計となります。

最近のニュース

【最新ニュース】

- 農業協同組合新聞
- 地方創生型障がい者雇用支援「コルディアール農園」
佐賀県に新規オープン **NEW**
- 2020 農業技術 10 大ニュース発表 AIで病害診断、
スマホで土壌分析など **NEW**
- 農薬の上手な施用法4【防除学習帖】 **NEW**
- 農薬の上手な施用法3【防除学習帖】 **NEW**
- SDGs 5【今さら聞けない営農情報】 **NEW**
- SDGs 4【今さら聞けない営農情報】 **NEW**
- JA全農の「スマートみどりくん」が10大ニュースに
選定 **NEW**
- 病害虫発生情報 **NEW**
- 全中
- JAグループ(農業)
- 全国農業新聞
- 決算整理(その1) 給付金は交付決定通知のあった
年に計上 **NEW**
- 決算整理(その2) 農作物は期末現在で棚卸し、収
入金額に **NEW**
- 全農HP

【農林水産省】 **NEW**

- 農業担い手メールマガジン(不定期配信)
- e-普及だより
- 補助事業参加者の公募
- ◎災害情報について
- ◎米穀の農産物検査結果

【全国農業会議所】 **NEW**

- ◆全国農地ナビ
- 【農機情報】 **NEW**
- ◆日本農機工業会
- 【農作業安全】 **NEW**
- ◆<関連情報>農作業安全情報センター
- 【TPP関連】
- ◆TPP報道(日本農業新聞)
- 【JA全青協】
- ◆各地域のJA青年部の取組(JA全青協HP)

- 「Apron (エプロン) web マガジン」1月号を更新しました **NEW**
- キュウリ栽培実証施設「ゆめファーム全農SAGA」全国平均約4倍の収量(55.6t/10a)を達成 **NEW**
- 農林水産技術会議の2020年農業技術10大ニュースに選定されました ～簡易土壌分析ツール「スマートみどりくん®」～ **NEW**
- 全農グループ飲食店舗8店舗で佐賀県産の新ブランドいちご「いちごさん」フェアを開催(～1/31)

※本リンクは、インターネットにある新聞や各情報のうち、TAC推進課が担い手に関する内容を収集して作成しています。

JA全農 耕種総合対策部 TAC推進課
TEL : 03-6271-8276
FAX : 03-5218-2535
mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp

TACパワーアップ大会 2019「大会宣言」

我々TACは

- 一、担い手の声に向き合い、JAグループの力を結集して応えます。
- 一、担い手とともに、活力ある地域づくりを目指します。
- 一、TACの輪を広げ、日本農業の未来を切り拓きます。

★毎週水曜日を基本に、定期配信します(水曜日が祝日の場合は休刊します)★